

数学科学習指導案

指導者 広島市立〇〇中学校
教諭 〇〇 〇〇

1. 日時・場所 平成23年12月〇日 (〇)
2. 学年・組 第1学年〇組
3. 単元名 比例と反比例の利用
4. 本時の目標： 比例のグラフからいろいろな情報を読み取ることができる。

	主な学習活動と 予想される反応	指導上の留意点	評価規準
導入	1 前時までの学習内容の確認 ・比例・反比例の特徴を確認する。	○特に比例の式とグラフについて確認する。	
展開	<p>2 本時の学習内容の提示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>兄と妹が同時に家を出発し、600m離れた駅に行きます。 このグラフからどんなことが読み取れますか。</p> </div> <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・個人で自由に考える。 ・グループで考えを交流する。 ・発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; width: fit-content;"> <p>(兄のグラフを横にスライドさせたものを見せる。) このグラフを使ってできる問題を作りなさい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px; width: fit-content;"> <p>【ICTの活用】 実物投影機で映しながら、グラフを移動する。</p> </div> <p>《予想される生徒の反応》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兄の出発した時間が変わったな。 ・傾きが変わっていないから、速さは変わらないのかな。 <ul style="list-style-type: none"> ・グループで考える。 ・発表する。 ・問題を解く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○道のりと時間から、2人の速さを求めることができないか考えさせる。 ○速さが求まれば、駅への到着時間を考えさせるなど、2つのグラフから読み取れることはないかを考えさせる。 ○なるべく多くのことを読み取らせる。 <ul style="list-style-type: none"> ○問題を作ることが難しいときには、問題の例を提示し、考えやすくする。 	<p>【見方・考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフからいろいろな情報を読み取ることができる。(ワークシート) <p>【表現・処理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをワークシートをもとに説明することができる。(発表)
まとめ	3 本時のまとめ ・自己評価カードに学習のふり返りを記入する。		

○ICT活用のねらい：

- ・グラフで変わっているもの、変わっていないものを、より確実に判断することができるように、実際にグラフをスライドさせて見せる。